



# INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：伊澤和男 副会長：小川秋實 幹事：宮澤友浩

	<p>2016-2017 国際ロータリーのテーマ  <b>人類に奉仕するロータリー</b>                  ROTARY SERVING HUMANITY</p>	<p>2016-2017 RI会長                  ジョン F. ジャーム                  米国(テネシー州)</p>	
<p><b>第1377回例会 平成28年11月8日(火)</b></p>			

■ 点 鐘 12:30

■ ソング それでこそロータリー 馬場秀則ソングリーダー

■ 会長談話 伊澤和男会長



ハロウィンが終わり、11月になったと同時に伊那谷の両側のアルプスもいよいよ雪化粧。毎年の風景ながら、美しい紅葉の季節となりました。

先週は職場訪問例会のみなさん御苦勞様でした。職業奉仕委員会井上委員長始め、大変良い企画をしていただき、ありがとうございました。

秋の叙勲では橋場正尚チャーターメンバーが旭日双光章ということで、私達仲間として誠に喜びに堪えないところであります。本当におめでとうございました。

11月1日には伊那商工会議所第27期新役員、新議員との懇親会に出席してまいりました。当クラブの会員も沢山出席されており、心強く思いました。新役員は全員留任とのことで、当日は伊那では20年の件案でありました、新ごみ処理施設の起工式もあり、大鹿村ではリニア中央新幹線南アルプストーンネル長野工区の起工式と、時代が一步前へ進む記念の日であったように思います。

11月3日には新伊那市誕生10周年記念式典に出席してまいりました。伊那西高校の書道クラブによる市民憲章の揮毫実演パフォーマンスもあり、なかなかの盛り上がりでした。

これらのイベントを通じ久しぶりに10年後、20年後、30年後のことが語られ、人口減少、超高齢化等とかく沈みがちな時代背景の中、良い時間を過ごすことができました。今年度は我がRCも記念の年度となりますが、他の団体も節目の年になるところが多いようです。

団体だけではなく、隣国韓国、そしてアメリカ、これからどのように変わり進化してゆくか、我々の目指すところは「平和親睦」前向きに「向上奉仕」

財団、米山協力よろしくお願ひします。

■ ニコニコボックス

- ◆伊澤和男 分水へ桜が出発しました。何とか無事に根が付きます事を心より祈っております。
- ◆宮澤友浩 私事ですが、先日弊社の60周年の感謝祭を行いました。父の代よりおかげ様で60年。皆様に感謝です。
- ◆井上修 先週の職場訪問例会、ご参加ありがとうございました。吉原会員のご理解も頂けたかと思ひます。今後共宜しくお願ひ申し上げます。
- ◆矢島宏 本日クラブフォーラムで、米山記念奨学会の話をしてします。
- ◆清水吉治 紅葉が始まりました。季節はちゃんと廻るものですね。
- ◆橋場正尚 秋の叙勲で旭日双光章をいただきました。11日、皇居に行くはめになりました。
- ◆中川博夫 お久しぶりです。

■ 幹事報告 宮澤友浩幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・9月11日(日)、11月6日(日) RLIパート2・パート3の報告 藤澤健二会員



塩尻市えんぱーくに於いて9:00～17:00頃まで行われました。今まで3回出席した訳ですが、お互いロータリーに対する思いを共有する事が最終的な目的に感じています。今回は特に地区補助金事業について思いを共有する事ができました。事例として、塩尻ロータリークラブでは身障者施設にて「そば打ち」、天竜ロータリークラブでは「かぶと虫事案」～絶滅危惧種「ぶっぼうそう」鳥は飛んでいるエサしか食べない！！という事で、かぶと虫の育成に努めたと言う理由もあるそうです。次回は来年になりますが、卒業証書を頂けるように出席を続けたいと思います。

・12月23日(金・祝) 年末家族会の案内 伊藤幸明親睦活動・家族委員長



今年度も年末家族会を開催致します。会員・ご家族皆様の大勢のご参加をよろしくお願い致します。

・指名委員長より委員会途中経過の報告 小川秋實指名委員長



指名委員会にて現在選挙中です。12月第1例会にて年次総会を開き、次期役員及び理事の候補者を発表致します。

・「ロータリーの友」11月号紹介 原誠会員



・RI会長メッセージ(抜粋) 横組み3ページ  
アーチ C.クラフの革新

皆さんご存じの通り、多くの点でロータリー財団は、ロータリーの礎です。クラブ同士、また他団体との強力とパートナーシップの枠組みを築いてきました。そのおかげで私たちは、奉仕活動に対する意欲を向上することができ、ポリオ撲滅のような歴史に一ページを刻む目標にたどり着くこともできました。ロータリー財団の成果として、過去100年間に成し遂げてきたよいことを数量化することは不可能ですが、アーチ・クラフが今の財団を見たら、誇りに思うであろうことは疑う余地がありません。

・ロータリー財団月間を祝う(抜粋) 横組み34ページ

私から特に3つのアイデアをお伝えします。

まずは、世界でよいことをしてきた財団の100年にスポットライトを当てるような、地域社会全体を対象とするイベントを開くことです。2つ目は、緊要な課題に応えるプロジェクトの計画と実施です。これは、地元での募金活動を通じて資金を調達するか、グローバル補助金に申請して実現できるでしょう。プロジェクトの例として、きれいな水の提供、女子への基本的教育の提供、マラリア、HIV/エイズ、そのほかの予防可能な疾病への取り組みなどが挙げられます。

3つ目にお勧めしたいことは、すべてのロータリアンが100周年を記念した特別寄付を行うことです。ロータリー財団は、私たち一人ひとりのものであることを忘れてはいけません。私たちからの寄付が世界でよいことを行う財団のあらゆる善行を支えているのであり、これは過去100年にわたって継続されてきたことです。この伝統を次の100年にも継承していこうではありませんか。

・10月19日(水) ゴルフコンペの報告・表彰式

鈴木一比古ゴルフ部長



優勝：矢島宏会員  
準優勝：熊谷健会員  
3位：池田幸平会員



■ 出席報告

会員数42名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席者28名 事前メイク1名  
出席率76.32% 前回出席率 修正なし

■ クラブフォーラム

「米山記念奨学会」

・矢島宏米山記念奨学会委員長



ロータリーに入って間もない人には、米山記念奨学会と聞いてもなかなか解からない人が多いと思います。我々も25年前、創立5周年の時に静岡伊豆にある米山梅吉記念館に旅行を兼ねて訪れました。そこでロータリーの精神を教えられ少し解った様な気がした事を思い出します。

今日は、ロータリー米山記念奨学事業を豆辞典によってお話をします。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となっていたきたい。(5P 事業の使命) 毎年全国で750名、長野県で17~18名受け入れている。今期は創立30周年でもあり目標の一人2万円、42名で合計84万円を達成したい。米山功労者に6名程お願いいたしますのでよろしくお願ひします。(9P 寄付について、10P 寄付に対する表彰制度、13P 地区別寄付実績) 米山奨学生は未来からの外交官である未来からの大使である。(下井さん語る) ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”であり、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業である。(5P参照)

■ 点 鐘

13:30

次回例会

11月15日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店  
クラブフォーラム「ロータリー情報」